

【参考資料】

1. AUN J クラシック・オーケストラとは

和太鼓、三味線、箏、尺八、篠笛、鳴り物の各楽器の第一線で活躍する邦楽家 8 人で 2008 年に構成された和楽器ユニット。

「音楽には、国境はないが国籍はある」という考え方をベースに、日本だけでなく、世界中で演奏活動を行う。2013 年から伊勢神宮での奉納演奏、吉野蔵王堂での演奏など文化遺産での演奏も多数行ったほか、海外でも世界初となるモンサンミッシェル内のライブ演奏やサンマリノなど世界遺産での演奏も行っている。2013 年には、ONE ASIA Joint Concert のツアー中、世界遺産であるアンコール・ワットでも演奏した。

2. 2017年オーストラリア公演の奏者

(1) AUNJクラシック・オーケストラ



左：井上良平 (いのうえりょうへい)
和太鼓、三味線



右：井上公平 (いのうえこうへい)
和太鼓、三味線、笛

18歳で鬼太鼓座に参加、数年後には、全米一周1万5千キロという距離を3年かけてマラソン走破し、300回以上のステージをこなす中、4回のニューヨークカーネギーホール公演を

成功させる。2000年、新しい表現を求め、双子ユニット「AUN」を結成。日本の伝統を和楽器を通じて世界に発信し続けている。平成23年度文化庁文化交流使に任命された。これまで、世界40カ国、国内外で1300回を超える公演を行っている。



尾上秀樹
(おのうえひでき)
中棹三味線

藤本弥尾地に師事。2006年に石垣秀基とともに、ユニット「HIDE-HIDE」を結成。2010年にロシアで開催された「第一回テレムクロス

オーバー国際音楽コンクール」で第一位、特別賞を受賞。



石垣征山
(いしがきせいざん)
尺八

人間国宝・山本邦山に師事。尺八では、郡山流の師範でもある。山号・二代石垣征山。第16回くまもと全国邦楽コンクールにて最優秀賞・文部

科学大臣奨励賞を受賞。尾上秀樹と共に「HIDE×HIDE」としても活躍。



秀-HIDE-(ひで)
鳴物

生まれ育った江戸っ子気質を活かした、唄って・踊れて・打てる現代の鳴り物師。1987年に和太鼓グループ「鼓童」に参加。2004年に17年間活動してきた「鼓童」から独立し、2005年

から「鳴り物師 秀-HIDE-」としてソロ活動を開始。特に、チャップアの演奏法で、高い評価を得ている。



市川慎 (いちかわしん)
箏

秋田県生田流箏曲「清絃会」三代目家元足達清賢の息子として生まれ、第7回長谷嶺校記念全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣奨励賞を受賞するなど、若手演奏家の

中でも注目すべき存在。



山田路子
(やまだみちこ)
篠笛

千葉県出身。能楽師一噌流笛方・一噌幸弘氏に師事。邦楽古典の世界を学びながら、ジャンルに捕らわれない独自の演奏活動を行って

いる。2012年8月に自身初のオリジナルアルバム「m i k o t o ~ ミコト ~」、2013年に2枚目のアルバム「いろはに笛と」を全国発売。作曲や篠笛指導にも力を入れている。笛とギターユニット「竹弦囃子」や太鼓とのユニット「打花打火」にも参加。



山野安珠美
(やまのあずみ)
箏

山口県出身。ロシア「エルミタージュ日露国際音楽祭」にてオーケストラと共演。欧州・アジア・中南米ツアーなど、海外公演多数。国内では、

ソロリサイタルや洋楽器等、ジャンルの異なる演奏家と共演するなど、幅広い演奏活動を展開。

(2) マシュー・ドイル 「ディジュリドゥ」

プロのミュージシャン(ディジュリドゥ奏者、歌手、作曲家)で、ダンサー、振付師、教師。1985年にナショナル・アボリジニ・アイランダー技能開発協会 (NAISDA) に加わり、ダンスで進学士号を取得。その後、ダンサーやディジュリドゥ奏者として、学校、大学、様々な芸術文化祭で指導、演奏を行う。1991年から1993年にかけてアボリジニ・アイランダー・ダンス・シアター (AIDT) 社と、国内外でツアーを行い、シドニーの学校教育部の芸術家として活躍。



3. コンサートロゴ

